

沿岸・近海漁業資源調査－Ⅱ (漁場環境調査：魚礁調査)

榊純一郎

【目 的】

海底の状況（地形・底質）、人工魚礁の設置状況等を把握することにより、漁場の効率的利用を図るための知見を得る。

【方 法】

平成21年11月20日、いちき串木野市沖（串木野市漁協）の2箇所の魚礁漁場及び1箇所の増殖場において、水中テレビロボット（ROV）を用いて人工魚礁の設置状況（配置、積み重ね状況、洗掘、埋没、付着生物、魚の蝸集状況）等を調査した。

【結 果】

- 1 平成5年度設置串木野沖大型魚礁(沈船魚礁344ト1基・沈船魚礁134ト1基・FP魚礁3.25型9個)
沈船魚礁1基を確認。甲板上でイサキ幼魚、オオモンハタ、スズメダイの群を確認。甲板にはトゲトサカ及びムチカラマツ等のソフトコーラルが着生。魚礁の崩壊・埋没は確認できなかった。
(確認した魚種)
イサキ・オオモンハタ・スズメダイ・カゴカキダイ・イラ
- 2 昭和60年度設置タイヤ魚礁
1.5m角型魚礁の乱積みを確認。タイヤ魚礁は確認できなかった。透明度が悪く、マアジは確認できなかったが有用魚種を複数種確認。トゲトサカ及びムチカラマツ等のソフトコーラルが着生。崩壊は確認されなかったものの、下段の魚礁に埋没が確認された。
(確認した魚種)
イシダイ・オオスジハタ・コロダイ・オオニベ・イラ
- 3 平成13年度設置吹上沖広域型増殖場（AT魚礁I型21基・クリスタルリーフCN-2型14基）
AT魚礁及びクリスタル礁を確認。AT魚礁では有用魚種を複数種確認。クリスタルリーフではイサキの群を確認。双方ともにトゲトサカ等のソフトコーラルが着生。魚礁の崩壊・埋没は確認できなかった。
(確認した魚種)
イサキ・イシダイ・オオモンハタ・コロダイ・イラ・キンチャクダイ・ナンヨウツバメウオ・ハタタテダイ